

平成19年5月30日

高崎市長 松浦 幸雄 様

高崎市倉渕地域審議会
会長 追 川 清

答 申 書

平成19年4月26日付け第24-1号で諮問された、高崎市第5次総合計画基本構想に係る地域のまちづくりについて、審議を行ったので、下記のとおり答申いたします。

記

1 答申内容

合併協議会において策定された新市建設計画の理念が引き継がれており、倉渕地域審議会としては、その内容についておおむね妥当であると認めます。

(1) 地域の特性について

倉渕地域は、合併市町村の中でも有数の温泉を有しており、烏川の清流、緑の山々、自然環境、景観以外にも特色ある地域資源として活用できるので、温泉の記載も必要と思われる。

(2) 地域の将来像について

妥当と認める。

(3) 将来像のイメージについて

妥当と認める。

(4) 施策の展開について

自然環境の保全と交流の促進

小栗の里整備計画については、合併前から倉渕地域の重要課題であり、既存施設と併せて都市との交流を促進するための中核をなすものであることから、その実施にあたっては、地域住民のニーズを的確に捉えた上で、速やかな事業実施を望む。

また、これらの資源と併せて、「温泉」の活用を盛り込むことが必要であると思われる。

農林業生産の振興

中山間地域に位置する倉淵地域は、合併市町村の中で最も土地基盤整備率が低く、土地利用型農業の展開を図ることが極めて難しい状況にある。このため、土地の流動化が進まず農地の遊休化に拍車がかかっている。本地域の主産業である農業が魅力ある産業として担い手を育成できるよう、土地基盤整備の推進、有機農業の振興、農産物の地産地消対策の更なる振興を望む。

また、森林には景観形成、セラピー（癒し）等の多面的機能・効果があり、育成整備することが、地球温暖化防止にも繋がるため、林業後継者の育成対策を図り、林業の更なる振興を望む。

定住対策の推進

当地域は市街地から最も遠い位置にあり、交通体系、情報通信ネットワークの整備、及び過疎地域に顕著な少子高齢化に即応する施策の推進に努められたい。

(5) その他（基本構想・基本計画等について）

合併により、いわゆる周辺地域は置き去りになるとの危機感を持っており、地域の特性や伝統、文化を大切に継承し、温泉をはじめとした地域資源を十分に活用したまちづくりを推進し、各地域の均衡ある発展に資するよう適切な施策の展開を図られたい。

2 審議の経過

(1) 会議の開催日と内容

ア	平成19年5月1日	各委員の意見聴取
イ	同年 同月 14日	各委員の意見調整
ウ	同年 同月 23日	答申書の作成

(2) 委員から出された意見

- ア 倉淵支所管内で、検討中の小学校統合について、統合案、統合位置等の調整がついた後には、早急に事業実施できるよう要望する。
- イ 小栗の里整備にあたっては、早急に計画策定し、速やかな

る推進を望む。

- ウ 本地域では、中山間地域等直接支払制度に取り組んでいる。自然的条件等の不利な地域の農業生産条件の不利な農用地で、耕作放棄地の増加等により多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、農業生産条件の不利を補正する農家等への交付金により、農業生産活動の維持を通じて、耕作放棄の発生を防止し多面的機能の確保を図る制度であり、引き続き支援を要望する。
- エ 農業の発展的継続を目指した中山間地域振興対策の施策検討のため、群馬県から倉淵地域の1集落がモデル集落として指定を受け、地域住民を中心とした活力ある地域運営を目指した事業に取り組んでいる。この事業の更なる波及についての支援を要望する。
- オ 本地域の全地区で、農用地利用組合が8組織設立されており、農業の担い手に対する農地の流動化に貢献している。地域営農の発展を図る上で、引き続き支援を要望する。